

序

日本心療内科学会が、心療内科学会用語事典の出版に向けて用語委員会を発足させたのは、本学会設立10年目の2005年1月に開催された理事会に於いてであった。本用語集の出版は、初代理事長を務められた故桂戴作先生が、「心療内科の主要な診療対象である心身症としての身体疾患患者の殆どは、まず実地医家(プライマリ・ケア医)の診療所に受診している。だから、実地医家の先生方がもっと本学会に入会され、心身医学的な全人的医療の実際を修得されて、日常診療の中で必要に応じて実践できるようになって頂きたい。」とよく話しておられたことを受けて企画されたものである。

現在、本学会の会員数は、故桂先生の願いが届いているかのように年々増え続けている。新会員の中には、心身医療の実践経験が乏しいために、それを実践する過程ではさまざまな疑問や戸惑いを感じる状況におかれる方が少なくないと思われる。また会員の中には、患者さんの臨床症状が薬物療法によってコントロールできるようになったからといって、それだけでは満足することができず、そのような患者さんの中にも、その疾病の発症機序を心身医学的な疾病モデルに基づいて理解し、適切な心身医学療法を行うと、その薬物の減量や中止が可能となる患者さんがいるのではないかと考える方も少なくないと思われる。

そのような会員にとっても、本用語集は、大いに役立つように編集されているものと信じる。そして現代医学・医療の領域において疾病の発症機序を理解するのに、心身医学的な疾病モデルに基づいて検討するのが最も適切であることをわかってもらうのにも役立つことを願っている。

最後に、本書の出版にあたって、多大なご尽力を頂いた関係者の皆様に心より感謝申し上げたい。

2009年11月吉日

特定非営利活動法人日本心療内科学会

吾郷 晋浩

中井 吉英